

令和6年度 第1回 学校運営協議会記録

2024/5/11 13:30~14:30

わかば学園 会議室

1 会長挨拶

- ・ 地域とともに学校支援をしていきたい  
市のインクルーシブ的な地域についての取組にも注視していきたい

2 校長挨拶

委員委嘱状交付

自己紹介(新会員のみ)

社協会長

PTA 代表

学校経営方針について(別紙資料参照)

- ・1年かけて目指す学校像が見えてきた
- ・2つのモデル事業 生徒が自分の表現ができるよう
- ・肢体知的両部門の壁をなくすよう、職員の部門間異動、部門を超えた授業担当制を組んだ
- ・教員の配置数の少なさを感じる 超過勤務につながっているのか

中期学校経営方針

- ・開校宣言に基づいた学校経営方針は開校以来変わっていない  
(知)
- ・学年制の導入 進級時に子どもたちを知る教員を配置 学びの連続性  
(徳)
- ・インクルーシブモデル事業  
カリキュラムマネージャーはわかば学園に在籍していた教員が務めている
- ・まずは職員の人的交流から  
(公開)
- ・意思決定支援モデル  
B 部門高等部生徒から始めていく  
日本財団からの予算がついている  
若葉台障害者サポート部会と連携していく

国大担当者からもここならば多くの実践ができるだろうとのお墨付き

#### グランドデザイン策定

- ・AB 部門の門を一つにまとめる 校内組織もまとめていく

### 3 質疑応答

Q 公開研とはどこを対象としているのか？

A 全国の学校関係者 進路先企業関係者を対象としている オープンスクールでは地域協力者を対象としている 意思決定支援については別に報告会を行う予定

### 4 教育活動に置いての感想・意見交換

(運動会の感想)

- ・AB 部門間の笑顔での交流が印象に残った

・みんなが元気に運動会ができた 家族の人数制限もなくできた 子どもはお兄さん、お姉さんと言って慕っている 踊りながら励ましてくれている姿がうれしかった

・初めての参加わが子が A 部門児童生徒とどう交流しているのか興味深かった とても良い経験が積めているように思えた

・わかば学園らしさがどれくらいあるのだろうか興味深かった 以前、教委から B 部門生徒には物足りないかと言われたが、すぐに言い返したことがある これがわかば学園の運動会 最高のパフォーマンスが現れる 参観者も感動をもって見ることができる 今後も結果のみならず 過程 動機を大切に行っていってほしい

Q インクルーシブ教育事業は今までの交流とどこが違う？

A 特別支援教育を受けている生徒が一般級で授業を受けていくためにどのような準備が必要なのか そのベースになるものを検証していく

-行事交流から授業交流ということか

-小学校としても 6 月の交流をスタートに 9 年間の取り組みを始めていく

・地域年間予定を持参した、今年度も可能な範囲で参加してほしい 夏のイベントを秋祭りとして開催する 文化祭のやり方を変える 若葉台の中心で行う 地区センターまつりと合体した形で行う

・まちづくりの観点からいろんな方が集える街にしていきたい 協力できることがあれば伝え

てほしい

・インクルーシブ事業について その事業があつてからのインクルーシブ実践校の立ち上げがあるべきではなかったのか 今後の展開に興味をもっている  
民生委員としての名刺、メモ帳なども作成していただいた 大変好評であつた 今後も協力していきたい

・学校運営協議会について共通理解をしてほしい

……会則、委員名簿を参照し校長が説明

-補足として、教職員や教育委員会に対しての要望ができる機関である 委員は組織の代表ではなく個人として参加している

Q 資料2専門委員会とは

A 大きな課題が生じたときなど、外部組織を活用して設けることができる委員会かと思う

## 5 その他事務連絡

・決算予算について(別紙参照)

-予算流用をしていることについて十分な予算がない印象を受けた

-本校予算が増えた分、他校が減ったということか

特別支援学校の配当基準が見直された結果です

・申出書の提出は持参または返信用封筒でお願いします